

農林漁業現地情報（一般情報） 大豆の事例

2 地域農業の振興

環境にやさしい大豆の省力栽培技術の普及を推進

〔滋賀・八日市市〕

- 大豆の密播無培土栽培の実践 -

八日市市では、滋賀県東近江地域農業改良普及センターが、国産大豆の作付増加を踏まえ、だれでも、どこでも、簡単にできる大豆の省力栽培実証ほを平成 15 年度設置し、栽培技術の確立と普及を図っている。

この栽培技術の特徴は、麦は種機を活用し、は種作業の時間短縮と条間 30 センチの密播で夏季の中耕培土作業を省く（無培土）密播（は種量は普通の 2 倍から 2.5 倍が必要）により、蒔き遅れとなった場合の生育不足を補い、株数を確保する、早期に茎葉がほ場を覆い雑草を抑制する、無培土により地ぎわ部が平たんためコンバインによる刈り残しがほとんどなく、土かみも起こらず粒の損傷が発生しにくいなどで、大規模経営にも適している。

また、省エネ、除草剤の抑制、無培土で河川への土砂流入を減少させるなどの効果があり、環境にもやさしい栽培技術である。

関係者は、「この栽培技術の確立により規模拡大を目指した啓発・普及活動に取り組み、自給率向上につなげたい」と話している。

連絡先：八日市市 東近江地域農業改良普及センター 担当 西村
(電) 0748-22-7728